

那覇市長コメント

(相次ぐ米軍関係者の不同意性交等の事件について)

昨日、7月4日に、那覇市内で県迷惑行為防止条例違反の疑いで米海兵隊1等兵が現行犯逮捕されました。

また、昨年12月、在沖米空軍兵が少女を誘拐し、性的暴力行為を加えたという事件の発生を皮切りに、米兵による暴行事件が相次いで発覚しております。

私としては、断じてこれらの事件を看過することはできません。

犯罪行為に対しての激しい怒りを感じているところであり、被害に遭われた方々の一日も早い心身の回復を願っています。

米軍人による犯罪が続く現状では、私達は安心して日常生活を送ることが難しいと感じています。全ての市民が安全に生活を営める環境を保証する事が求められます。

在日米軍に対し、綱紀粛正の徹底を求め、再発防止策の強化を強く要望します。

日本政府においては、情報の伝達方法について十分な対応を講じていただくことを求めます。このような事件が繰り返されることの無いよう、有効な対策を講じることが何よりも急務であると考えます。

公表については、社会的な犯罪の抑制の側面、被害者のプライバシーや精神的な影響を含め、慎重に行うことが必要だと考えております。

本市としましては、被害者並びにそのご家族に対する謝罪及び十分な支援と補償が行われること、さらに今後このような悪質で卑劣な事件を二度と起こさないことを強く求めるものであります。

令和6年7月5日

那覇市長 知念 覚